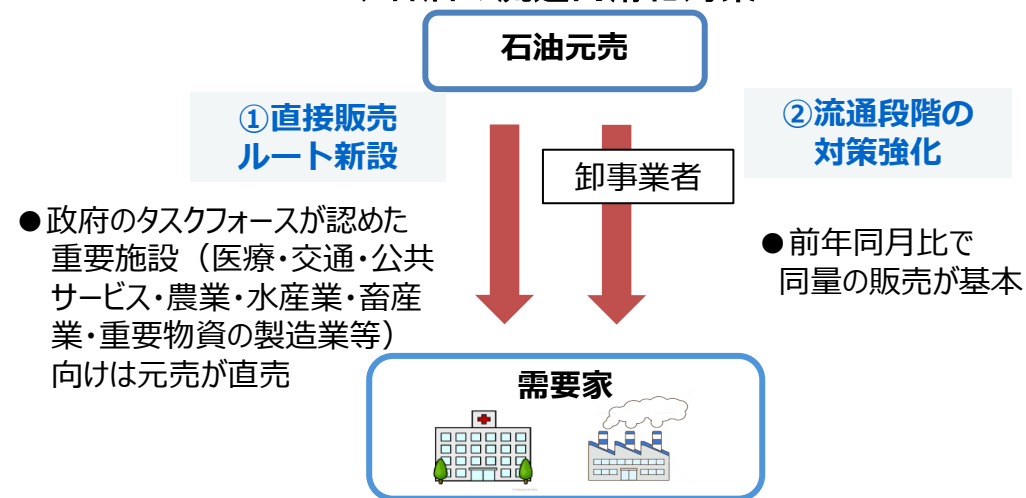


## ◎ 石油の流通円滑化対策

- 日本全体の石油供給は足りているが、流通段階で目詰まりが発生しているため、対策を一層強化。
- 系列・非系列にかかわらず、また継続的な取引の有無によらず、石油の安定供給を実施するよう石油元売事業者や輸入事業者に要請(3月19日)
- 石油元売事業者に対し、政府のタスクフォースが認めた重要施設（医療・交通・公共サービス・農業・水産業・畜産業・重要物資の製造業等）向けには元売からの直接販売を要請。また、継続的な取引がある場合には、前年同月比同量を基本として供給するよう要請。
- 加えて、大手卸売事業者に対し、可能な限り前年同月比同量を基本として石油製品を供給することを要請。

### ◆ 石油の流通円滑化対策



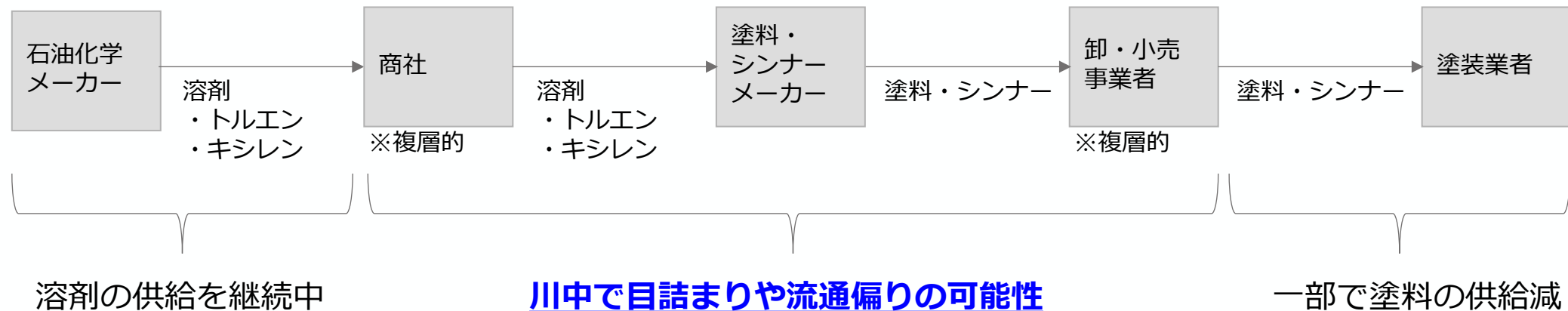
## ◎ 対応を進めている事例(シンナー)

- 経済産業省から溶剤等関係事業者に対し、シンナーを含む溶剤等の安定供給確保に向けた協力を要請(4月3日)。さらに、関係省庁から需要側の産業に対しても同様に要請。
- 川上側の石油化学企業は、シンナー原料の国内供給を継続中。したがって、川中の目詰まり箇所を特定すべく、シンナーの不足があった事業者に個別に電話・メールで問い合わせ、サプライチェーンを遡りながら状況を確認。その結果、目詰まり箇所を特定しつつある。なお、一部の製造業では、そうした目詰まり箇所を特定の上、実際に供給が確保できた事例あり。
- 本日、関係省庁の同席のもと、経済産業省から塗料の製造事業者に説明会を行い、直接、安定供給に向けた協力要請を重ねて行ったところ。引き続き、一つ一つ丁寧に全力を尽くしていく。

# シンナーの現状と対応方針

- 川下側の塗装業者より、「塗料用シンナーの一部の出荷が、メーカー側の製造停止により停止し、塗料が供給されない状況になっている」との声あり。
- これを受け、経済産業省にて、塗料に関する多層的なサプライチェーンを調査の上、目詰まり解消対応中。川上の石油化学メーカーはシンナー製造に必要な溶剤（トルエン、キシレン）の国内供給を継続しており、サプライチェーンの川中の目詰まり箇所の特定、川中の各層の企業へのヒアリング等を通じて事実関係を確認し、認識を揃え、目詰まり解消の対応中。

<塗料に関するサプライチェーン（一例）>



経済産業省から川中の各層の企業に事実関係の確認と目詰まり解消の対応中